



金山平三《結氷》昭和6年（長野県立美術館蔵）

令和6年度 諏訪市美術館 長野県立美術館 交流名品展

# 交差する諏訪

- 風景と人々 -

長野県立美術館  
諏訪市美術館

令和7年2月1日(土) ▶ 3月23日(日)

会場 諏訪市美術館

休館日 月曜日、祝日の翌日(2/3、10、12、17、25、3/3、10、17、21)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 大人610(500)円、小中学生150(100)円

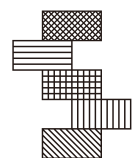
( )内は20名以上の団体料金

障がい者(介助者1名まで同額)150円

諏訪地域の小中学生無料

主催：諏訪市美術館 長野県 長野県立美術館

後援：信濃毎日新聞社 長野日報社 市民新聞グループ NBS長野放送  
テレビ信州 abn長野朝日放送 エルシーブイ株式会社 諏訪美術会  
諏訪市美術会 信州美術会



諏訪市美術館  
SUWA CITY MUSEUM OF ART

# 交差する諏訪

―風景と人々―

明治には製糸業が栄え、信州屈指の工業地域として知られる諏訪地域。諏訪湖や温泉、諏訪大社などを中心に、人々が交差してきたこの土地で、諏訪湖のほとりに静かにたたずんでいる美術館をご存知でしょうか。

諏訪市美術館は、緑色の瓦屋根とレンガ状の外壁が特徴的な美術館です。昭和18年、片倉館の附属施設「懐古館」として誕生したこの建物は、地元の芸術家や信州に疎開していた芸術家たちの熱意のもと、昭和31年、長野県初の公立美術館として開館しました。

諏訪市美術館と長野県立美術館の共同開催となる本展では、両館のコレクションから諏訪湖や製糸業などの諏訪地域を描いた作品や、諏訪地域にゆかりのある作家の作品を中心にをご紹介します。

距離にしておよそ100km。普段は離れた位置にある二つの美術館と、それぞれの作品が交じり合った展覧会を、ぜひご覧ください。



矢崎博信《高原の幻影》昭和13年（諏訪市美術館蔵）



原輝美《製糸工女》大正2年（諏訪市美術館蔵）



浜達也《淡水の幻》昭和49年（長野県立美術館蔵）

展覧会イベント

●学芸員によるギャラリートーク

日時：2月22日（土） 午後2時～2時30分

会場：諏訪市美術館

参加料：入館料のみ

定員・申し込み：なし

## 諏訪市美術館

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 4-1-14

TEL/FAX 0266-52-1217

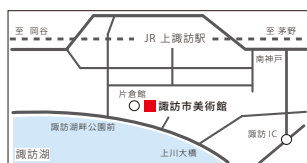
<https://www.city.suwa.lg.jp/site/museum/>



諏訪市美術館  
ホームページ



諏訪市美術館  
インスタグラム



〈交通案内〉

JR 中央線上諏訪駅より徒歩7分

中央自動車道諏訪ICより車で15分